

東日本本部駅伝大会から

十一月十一日、東日本本部主催の第十一回マラソン大会が開催された。当日は生憎の雨模様であったが、大会に臨んだ選手達の熱気は雨をものともせず、大会を大いに盛り上げた。

雨の中を激走

NRU 国労せんだい

NO. 2475
2006年11月21日
発行責任者 太田 博二
編集責任者 武田 昌仙

駅伝の部で六位入賞 個人も三位・五位

今回地方本部の単独チームとして出場した「仙台チームA」は、仙総支部の仲間達で編成し、抜群のチームワークと安定した走力によって堂々の6位入賞を果し、昨年の雪



「頼むぞ!」「任せろ!」

は昨年引き続き長野地本Aチームが大会2連覇を果した。レース展開では当初現役陸上部員を加えた高崎地本Aチームが序盤独走、中盤までリードを保ったが、自力に勝る長野地本が見事逆転で優勝した。最近の駅伝チーム編成の傾向として、組合員本人だけでなく家族を加えた編成で若返りを図り、上位進出を狙っているようである(別にルール違反ではない)。そうした中であって

辱を果した。また個人の部(5km)では、仙総支部の南幅清也選手が3位、高橋正人選手が5位入賞に輝いた。

長野地本が二連覇

大会は駅伝の部で

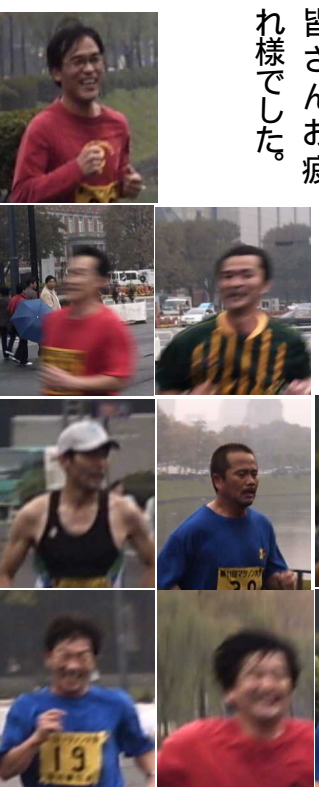
「頑なに」現役組合員のみでチーム編成をし、上位入賞を果したことは大変素晴らしいことであり賞賛に値する。

また各地本ともに選手選考やチーム作りに頭を悩ませながらも工夫を凝らし参加してきている。仙台地本も来年は複数チームで参加出来るよう取り組みを強化したい。

仙台地本チームAの選手は以下の通り。
1区(5km) 佐々木晴基、
2区(2.5km) 南幅清也、
3区(同) 堀越章広、
4区(同) 高橋真人、
5区(同) 高橋正人、
6区(5km) 佐藤勝成(敬称略)

激走の顔・顔・顔

皆さんお疲れ様でした。



6位入賞を果した仙台Aチーム